



御隠居様卜御内々御下相成候二冊之寫

7c
明元
+

服部文庫
イ 17
2187
14



117 支
2181
14

日三有月五廿後三返上

戊辰十月九日出便同其了名

所居右標分所内、所下相公二冊之寫

服部文庫
117
1299
45



議事傍評

忠榮

未平の如く人々を以て一足りての如し

議事方

一議事方は家たつて一紙に権與所へ送ると云ふ所は
抑へて玉極むるは其の如くは流議事方の内は其
側より目録を出さるるは其の如くは流由りて其
又
其の如くは流前首尾合宜と云ふは其の如くは又
其の如くは流議事方と云ふは其の如くは又
其の如くは流人情と云ふは其の如くは又
其の如くは流此處と云ふは其の如くは又
其の如くは流其の如くは又

此後之海軍
在明治以前
ありき

海軍の発展
明治以前
ありき

一 海軍の発展は明治以前より既に著しきものありしを以て其の歴史を論ずるに先づ明治以前の海軍の概況を述べ置かざるを得ず。明治以前の海軍は戦国時代より江戸時代に至るまで、主に沿岸防衛と領土維持を目的として発展してきた。その組織は幕府の御用として、戦国時代には戦国大名の私兵として、江戸時代には幕府の御用として、それぞれが独自の発展を遂げてきた。明治以前は、海軍の発展は戦国時代より江戸時代に至るまで、主に沿岸防衛と領土維持を目的として発展してきた。その組織は幕府の御用として、戦国時代には戦国大名の私兵として、江戸時代には幕府の御用として、それぞれが独自の発展を遂げてきた。

一 明治以前は、海軍の発展は戦国時代より江戸時代に至るまで、主に沿岸防衛と領土維持を目的として発展してきた。その組織は幕府の御用として、戦国時代には戦国大名の私兵として、江戸時代には幕府の御用として、それぞれが独自の発展を遂げてきた。明治以前は、海軍の発展は戦国時代より江戸時代に至るまで、主に沿岸防衛と領土維持を目的として発展してきた。その組織は幕府の御用として、戦国時代には戦国大名の私兵として、江戸時代には幕府の御用として、それぞれが独自の発展を遂げてきた。

五十年... 此... 尤... 句

○ 此... 人... 老... 日... 正... 局...

此... 上... 行... 行...

行... 上... 行... 行...

行... 上... 行... 行...

行... 上... 行... 行...

行... 上... 行... 行...

行... 上... 行... 行...

行... 行... 行... 行...

行... 行... 行... 行...

行... 行... 行... 行...

行... 行... 行... 行...

行... 行... 行... 行...

行... 行... 行... 行...

行... 行... 行... 行...

行... 行... 行... 行...

行... 行... 行... 行...

一 云初... 山口 丑吉

山口 丑吉

江料... 山口 丑吉

以上

免

一 江... 山口 丑吉

○

江... 山口 丑吉

十日

先... 山口 丑吉

江戸橋 江戸此段向方の段自筆の紙は数枚中此段全

十月九日

免

江戸中一筋の海へ係又と建白出へ係とて一筋橋
 一筋橋上へ道一 上へ管下へ道一筋橋向方
 一筋橋中へ向へ所へ係とて一筋橋向方一筋橋
 用紙は度其紙八折一紙とて一筋橋
 一筋橋一筋橋向方とて一筋橋向方一筋橋
 一筋橋向方とて一筋橋向方一筋橋向方
 一筋橋向方とて一筋橋向方一筋橋向方
 一筋橋向方とて一筋橋向方一筋橋向方

一筋橋向方とて一筋橋向方一筋橋向方
 一筋橋向方とて一筋橋向方一筋橋向方
 一筋橋向方とて一筋橋向方一筋橋向方
 一筋橋向方とて一筋橋向方一筋橋向方
 一筋橋向方とて一筋橋向方一筋橋向方

○

江戸元也店 忠無下平とて一筋橋向方
 一筋橋向方とて一筋橋向方一筋橋向方
 一筋橋向方とて一筋橋向方一筋橋向方
 一筋橋向方とて一筋橋向方一筋橋向方
 一筋橋向方とて一筋橋向方一筋橋向方

白くゆき、そのくさくさしたる、
此後、下りて、新十、
いふ、
いふ、

此の事

をいふ

平家朝臣

今、平家朝臣、
内、
此、

一、此、
平家朝臣、
慶長、

平家朝臣、
平家朝臣、
平家朝臣、
平家朝臣、

一、前、
上、
相、

之備無一不備也... 又中一... 洋債... 一新說... 一而... 一才... 一四... 一... 一... 一...

政事局

平... 永...

軍務局

孫... 方...

會計局

新... 和...

右... 會計... 不...

鑾輿孤獨局

平... 之...

滄春行一白

方...



